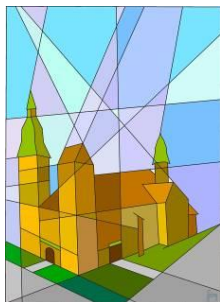


ご来館の皆様、

フライベルグの教区教会 ペトリキルへ
へようこそお出でくださいました。

この教会は プロテスタントルター派のペトリニコライです。

ペトリキルへでは、日常的に有用な活動を行っており、礼拝のためのセンターであるとともに地域社会に奉仕する場所でもあります。私たちのコミュニティは子供と若者たちとの強力な活動と、多くの教区民の積極的な参加によって、数多くの活動、例えば教区聖歌隊コーラス、教区民月例集会、各種教区サークル、子どもたちの合唱団、若者たちの、又は年配者たちの集会、更には数々の音楽種などを行っていることでよく知られています。



インテリア ペトリキルへの内部は際立ったモダンな装飾が施されています。教会堂の身廊、中央の一般会衆席のある部分には祈所であると同時に、各種の集会のためのホールとしても使われています。回廊の下には、私たちの教区室（子供達のための宗教教育や、若者や年配者たちの集会、音楽演奏、その他多くの活動やサークルのために使われる部屋）があり、キッチンもあります。先述の合唱団の発表や展示が次々と行われています。これは「教会の中の教会」という考えを如実に表したものであるでしょう。インテリアの主たるもの、即ちオルガンの前面と、説教壇は1728年の大火の後、ヨハン・クリスチャン・フェイグ（兄）によって造られたものです。ファイグはドレスデ

ンのフラウエンキルへの彫刻装飾も手がけました。1896年にセオドール・クエンティンがペトリキルへの内部を改装したと考えられています。更に1974年から1986年にかけて再建されました。現在の形になったのは、この町の二つの教区センターであるザンクトペトリとザンクトニコライが合併した1983年以降のことです。

フリードリッヒ プレス 1904-1990

芸術家フリードリッヒ・プレスは数多くの聖堂の装飾でよく知られています。1974-1986年にかけて彼がペトリキルへの身廊のために非常に印象的な芸術作品を創造しました。回廊の下の壁にある

12の彫刻は祭壇を見つめる待つ人々を表し、ガラスの壁の上の巨大な彫像は「救世主として蘇ったキリスト」という題がつけられています。合唱団の後ろの壁には「最後の叫び」と呼ばれる絵がかけられていますが、これはこの芸術家が神の子キリストの受難の姿を作品として生き生きと描き出したものです。



オルガン ゴットフリート・ジレバーマンの傑作。西側の回廊はもうひとつの特色があります。それはオルガンです。32個の音孔を持っており、これはジレバーマンにより造られた両手で操作するオルガンの中の最大のもので、彼はこのオルガンを1735年に完成し、彼の創作期の後期で初めて高度な着想を具現化しました。

その荘厳さと基本を重視した音の響きによってこのオルガンは後期バロック時代の好みと審美眼に一致しました。19世紀から20世紀にかけて何度か変更、調整が行われましたが、1993-94年にオルガン部分のオリジナルの状態に近づけられました。最終的に全面的な修復作業が終わったのは2007年7月のことです。そして今、このオルガンは元の音楽の輝きを再び発揮しています。このオルガンは国内外の非常に大きな関心が寄せられていますが、これはこのオルガンがバロック時代からフェリックス・メンデルスゾーン・バレンロディ（1809-47）の時代に至るまで演奏のための理想的な楽器として存在しているからです。5月から10月までこのオルガンは毎週水曜日の昼に演奏されています。なお、見学とコンサートを聴くガイドツアーを予約することができます。



建物と鐘 教区教会ザンクトペトリはロマネスク・バジリカ風の教会堂として町の中心部の高いところに建てられました。1190年以前のことです。今でも聖歌隊席の中にバジリカの遺跡を観ることができることができます。教会堂を見下ろすように元からあったその場所に聳えたち、高い尖塔を持つ西側のタワーのバロック風の飾りが美しいです。3850キログラムもある大きな鐘は1487年にオズフルド・ヒルガーによって鑄造されました。そして1940キログラムある小さいほうの鐘は1570年に彼の孫のヴォルフ・ヒルガーによって作られました。この二つの鐘と鐘類は2004-2005年に修復されました。これらの鐘は再び有名になり礼拝の響きを伝えています。ペトリ・タワーの小さいほうの「時の鐘（坑夫の鐘）」は一日に数回、時を告げます。

尖塔 ペトリ塔 ファウラー塔 ハーネン塔

ペトリ塔はフライベルグで最も高い尖塔を持ち、その高さは7メートルもあります。この塔からは、最も広範囲なすばらしい眺めが一望できます。これらの塔へはガイド付きのツアーで（又は、取り決めて従って）登って観ることができることができます。

Für weitergehende Fragen stehen wir Ihnen selbstverständlich gern zur Verfügung. Unser ist unter pfarrrer@petri-nikolai-freiberg.de oder Tel. +49 3731 247859, die Mitarbeiter der Petrikirche unter 34188 erreichbar. Eine ausführliche Vorstellung unserer Gemeinde, weitere Informationen zu Gebäude, Orgel usw. sowie den aktuellen Gottesdienst- und Veranstaltungsplan finden Sie unter www.petri-nikolai-freiberg.de/!

Japanisch

v2.00

Vielen Dank für Ihr Interesse

Der Kirchenvorstand der Kirchgemeinde Petri-Nikolai zu Freiberg

Übersetzung: Yoshiko Miura – vielen Dank!

